

(1) 体制

スタッフは常勤の介護支援専門員1名（管理者兼務）の体制で、介護保険での居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、又、適切なサービス利用ができるよう市町村やサービス事業者、介護保険施設等と連絡調整を行い、在宅生活の支援を行った。

(2) 実績

大項目	小項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実績	相談件数	9	8	7	9	7	5	7	5	4	5	6	5	77
	契約者数	25	26	27	28	31	33	34	33	33	34	35	33	341
	新規契約者数	3	1	2	1	3	3	1	0	2	1	2	0	19
	契約解除(死亡、入所など)	0	0	1	0	0	1	0	1	2	1	1	2	9
	介護保険申請代行	4	3	3	5	3	3	7	5	4	0	7	2	46
	申請・書類提出	11	11	18	11	10	13	18	12	19	17	14	16	170
	事業所等の連絡・調整	99	84	121	119	102	88	132	70	78	82	102	78	1,156
	カンファレンス担当者会議	7	8	6	7	4	10	14	6	10	11	9	5	97
	居宅訪問回数	38	33	36	40	58	31	36	33	30	38	43	40	390
	本人・家族	5	3	1	5	3	3	1	2	1	2	2	4	32
相談経路	関係機関	2	1	2	0	1	0	1	0	0	1	0	1	9
	医師	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	MSW	2	4	4	4	3	2	3	3	3	2	4	0	34
	看護師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実績	サービス利用者	23	25	27	28	27	29	28	29	30	30	31	32	339
	居宅利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

2015年度の延べプラン作成件数は委託（要支援者の計画作成数12件）を含め351件であった。その中で緩和ケア介入者のプラン作成は4名、うち緩和ケアへ移行した方のプラン作成は1名で、自宅での看取りを行った。早期介入が必要な暫定プランでの介入者は4名であった。

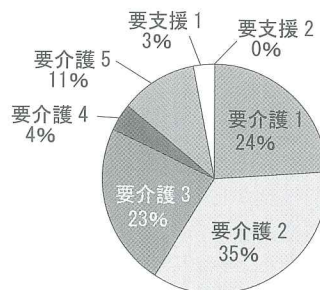
相談・介入依頼は77件で家族、MSWからの相談が多かった。内容としては、介護保険の説明・申請手続き、サービス調整などが主で、介護保険代行申請数は46件（新規・更新）であった。

契約解除の理由としては、要介護から要支援になられた方が1名で、在宅生活が困難になり施設（老人保健施設、グループホーム等）に入所された方が4名、死亡が4名であった。

居宅契約者の地域別の割合としては宇城市三角町、上天草市大矢野町が中心であり（宇城市 51%、上天草市 49%）、男女比の割合でみると女性の割合が高かった（男性 38%、女性 62%）。

要介護度別に見ていくと要介護度1、2が59%を占めており、介護度が重くなるにつれ、在宅生活は厳しくなっていくが要介護度5の割合が11%みられた。

要介護別割合



世帯別で見えていくと独居世帯が1件、夫婦二人暮らしの世帯が14件、家族同居世帯が16件、有料老人ホーム入所中の方が9件であった。夫婦世帯が増えてきているため、老老介護で支え合っている夫婦、二人の要介護者を介護している家族、夫婦二人とも要介護状態で生活している世帯も見られた。

(3) 次年度の計画

当院周辺地域は単身世帯、夫婦世帯の増加、高齢化率の上昇が著しい地域であり、社会資源も少ないため、安心して住み慣れた地域で生活できるよう引き続き関係機関と連携を密に行っていききたい。

介助量が高いと言われている要介護度3以上の割合が38%であった。その分、介護者の負担が高くなり、介護者の負担軽減が課題である。訪問サービスは利用されているが、通所サービス・短期入所サービスを拒否されている方が多い。そのため、次年度に開所予定である当院の通所リハビリサービスに繋げ、介護者の負担軽減を図っていききたい。

最後に実績者数を35名／月にし、介護支援専門員の増員を図り、居宅の規模拡大を目指していききたい。